

信濃路を駆ける、スーパースプリンター登場！



E353系は新宿・東京～松本・南小谷を結ぶ「あずさ」系統の特急車種統一を目的に、E351系・E257系の置き換え用として登場しました。

E351系の制御付自然振り子式機構とは異なる「空気ばね式車体傾斜装置」を採用して、E351系と同等の曲線通過性能の実現を目指し、平成26年(2014)に量産先行車が製造されました。数々の性能試験の後、平成29年(2017)より量産車が順次落成、同年12月に営業運転を開始しました。

E353系「あずさ・かいじ」は、新しいJR東日本の特急電車として人気が高く、実車登場当時から多数頂いておりました、製品化のご要望にお応えしての登場となります。

KATOではE353系をスピード感あふれる先頭形状、シンプルかつ力強いデザインに、アルパインホワイト・あずさバイオレットに塗装された車体を美しく模型化。更にKATO独自の技術による「車体傾斜装置」も装備し、実車さながらの迫力ある走行シーンを再現します。

3月発売



カーブで車体が傾く
車体傾斜装置搭載

●E353系 あずさ・かいじ 製品構成とセット内容

基本セット(4両) 増結セット(5両) 付属編成セット(3両)

①クモハ E353-3	②モハ E353-1003	③クモハ E352-3	④クハ E353-3	⑤モハ E353-503	⑥モハ E352-503	⑦モハ E353-2003 (M)	⑧サハ E353-3	⑨サロ E353-3	⑩モハ E353-3	⑪モハ E352-3	⑫クハ E352-3
----------------	------------------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	-------------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

新形特急 待望の製品化！

E353系「あずさ・かいじ」